

平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成29年 4月18日(火)

2 調査対象 第3学年生徒98名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語A、国語B 数学A、数学B)

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力)」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A(主として知識に関する問題)はおおむね全国平均と同程度でした。また、国語B(主として活用に関する問題)は全国平均を下回りました。

数学A(主として知識に関する問題)、数学B(主として活用に関する問題)ともに、全国平均を下回りました。

国語

成果が見られた問題

国語A

- 「話し言葉と書き言葉との違いを理解する」問題
- 「目的に応じて資料を効果的に活用して話す」問題
- 「漢字の読み書き」問題(「キボ」「イトナむ」「鮮やか」「垂れる」「覚悟」)

国語B

- 「目的に応じて資料を効果的に活用して話す」問題

課題と対策

「国語A」「国語B」の結果から、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については全国平均値に近い。「国語A」では、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに書き直すことや文語文の意味が理解できている。「国語B」の情報を読むことでは、「必要な情報を集めるための見通しをもつ」「興味をもってもらえると考えた理由を明確にして自分の考えを書ける」生徒が少ない。以上のことから、「読むこと」の領域では、文章の展開に即して内容を捉えることができるように文章全体に目を向けながら内容を把握させ、必要に応じて他の資料を活用したり、他の教科などの学習と関連させて資料を読んだりする学習活動も取り入れたい。「書くこと」の領域では解釈したことについて、根拠を明確にして説明したり、自分の考えを根拠をもとにまとめたりして「書くこと」の力を育成していきたい。

数学

成果が見られた問題

数学A

- 「等式を目的に応じて変形する」問題
- 「見取り図に表された立方体の線分の長さを読みとる」問題

○「多角形の内角の和の求め方」の問題

数学 B

○「証明した事柄を用いて新たな性質を見出す」問題

○「与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈する」問題

課題と対策

「数学 A」では、「錯角の意味」「比例定数の意味」「1 次関数の変化の割合の意味」などの数量や図形などについての知識・理解の平均正答率が全国平均に比べ低く、基礎的な知識の定着を図る必要がある。「数学 B」では、「事象を数学的に表現する」「事柄が成り立つ理由を説明する」「筋道を立てて考え、証明する」などの記述式の問題において、平均正答率が全国平均に比べ低い。以上のことから、県教育委員会の定着確認シートを活用し、定着度の低い内容について学び直しの時間を設定する必要がある。授業においては、適用の時間とまとめの時間を確保し、基礎基本の定着を図りたい。また、数学的な思考力や表現力を育成するために、自分の考え方や判断した理由を数学的な表現を用いて説明する場を設定する。さらに、計画的に問題解決的学習を行うことで活用力を育成していきたい。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか

○学校の部活動に参加していますか

○読書は好きですか

○家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか

課題が見られた項目

●友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか

●普段（月～金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンのゲームをする時間は除く）

●家で、学校の授業の予習をしていますか

●今住んでいる地域の行事に参加していますか

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では特に活用力に関する問題に課題が見られました。今年度より福島県教育委員会「学びのスタンダード」推進事業の研究指定を受け主体的・対話的で深い学びによる授業モデルの構築を目指し、全教職員で授業改善に取り組んでおります。普段の授業では「生徒が生き生きと学び、確かな学力を育むための指導の工夫」～主体的に学び合い、活用する力をのばす活動の工夫～を主題に授業研究・研修を行っています。また、南相馬市重点課題の1つである「話し合い・学び合いを通じ、児童生徒相互に啓発するような授業の設定」について、以下の2点を重点的に取り組み、活用力の向上を目指していきます。

(1) 学び合いの指導の工夫

(2) 活用する力をのばす指導の工夫

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

・授業の予習、復習など家庭学習時間の確保（平日・休日）

○ゲーム・スマートフォン関係について

・家庭でのルール作り、ルールの徹底

○地域社会等への参画について

・新聞やニュース等に親しませ、地域社会へ参画の意識を養う